

●事業概要

認定期間: 2016年11月～2021年10月

「水素・燃料電池」、「次世代低公害車」、「環境にも人にも優しい住宅・施設によるサステイナブルなコミュニティづくり」を実現するための革新的なスマートエネルギー技術の創出

「分野を超えた研究者同士の連携」や「研究者と世間の橋渡し」を志向した活動の模索

●実施体制

メンバーの所属部局と分野(2020年5月)

大分大学 教育学部	住居学・住宅政策, 被服学・染色科学
大分大学 経済学部	経営組織論, 産業組織心理学
大分大学 理工学部	機械工学・熱工学, 金属材料強度評価, メカトロニクス, 環境・建築音響, 画像処理・VR, 触媒化学, 生命科学, 分子性薄膜
大分大学産学官 連携推進機構	空間情報工学
崇城大学	電気工学

●実施スケジュール(実績及び予定)

2016～2019

- ・ミーティングの定期的な開催. 情報交換
- ・メンバーが参加する公開事業の支援
- ・外部予算の申請支援
- ・医療機器ニーズ探索交流会出席
- ・アウトリーチ活動および技術紹介
- ・構成員による新規BURSTの設置申請

2020～

- ・ミーティングの定期的な開催. 情報交換
- ・アウトリーチ活動および技術紹介
- ・構成員による新規BURSTの設置申請
- ・崇城大学の研究者を参加メンバーに募る

これまでの成果

○平成28年度

- ・11月の発足後、毎月6のつく日にランチミーティングを開催し、情報交換。
- ・メンバーが参加する環境・省エネシンポジウム(12月)開催支援。
- ・JST未来社会創造事業申請支援(2名)。

○平成29年度

- ・医療機器ニーズ探索交流会(挟間キャンパス)での構成員の研究シーズ紹介。
- ・大学開放イベントでの活動紹介。
- ・おおいたうつくし感謝祭(県等主催)構成員(3名)が研究紹介、ワークショップを実施。
- ・イノベーションジャパンで構成員の研究紹介。
- ・URAチームの支援等で構成員が、JST・SCORE事業採択。
- ・産連機構のマッチングイベントで構成員の研究シーズ発表。

○平成30年度

- ・メンバーの衣本助教(当時)とURAチームの原田が新たなBURST形成。
- ・メンバーの都甲教育学部准教授と理工学部の原田准教授、また崇城大に移った西嶋元代表(現在もメンバー)の仲介で原田准教授と崇城大の教員との連携などを支援。
- ・加藤代表の地域開放推進事業(Jr.サイエンス事業)、都甲准教授のCOC+主催セミナー等を支援。

○令和元年度

- ・ランチミーティングを、発足後累計60回程度開催し情報交換。
- ・新たに、「夏休みこどもサイエンス」企画メンバーも参加。
- ・直接的にBURST活動と関係していないものなども含め、メンバー及び関係者(8人)の受託研究、共同研究、受託事業実施件数は、29件(全体264件の約11%)、内設立当初からのメンバー(4人)13件(約5%)。(平成30年度末現在)